



愛犬も一緒に 9日間の夏休みを利用して 出かけた四国キャラバン

中村 悟 (57歳・会社員) 千葉県船橋市

ACバラエティワールド
**読者の
アウトドア日記**
READER'S OUTDOOR REPORT

「バーストナー A532」

早めの夏休みを海の日に合わせて
7月15日から23日までの9日間取った。
しかし、今年は例年よりも梅雨明けが遅い…。
14日金曜日晴れ、仕事を終えて帰宅。
しっかりと夕食をとってから今晩からの四国旅の準備をする。
シャワーで汗を流し、23時予定どおり
家内といろは(柴犬メス1歳)を乗せ出発した。



●夕陽が丘キャンプ場にて

小型観光船に乗って
「鳴門のうず潮」を
目と体で体感！

湾岸道路経由、横浜ベイブリッジを通り横浜町田ICから東名高速道路に入る。しばらく走ると仕事の疲れが、眠くなったので足柄SAで休むことにする。いつも連休前夜だと足柄SAはキャンピングカーが多いのに今日は少ない？どうしてだろう…。

★走行距離…140km／風呂…無
7月15日(土) 晴れ、6時起床。一路西へとクルマを進める。途中、朝食とNHKの朝の連続ドラマ「純情きらり」を観るため、7時過ぎにPAへ入る。家内は朝ドラの大ファンだ。クルマを止め、BSアンテナを設置。自動追尾タイプは価格が高いので我が家のは手動である。

休憩後、今日の目的地、淡路島までひたすら走り、なんとか明石海峡を16時前に渡ることができた。近くにあった温泉、松帆の郷で海峡に沈む夕日と明石大橋を眺めながら湯船に浸かり今日の疲れを落とす。神戸淡路鳴門自動車道の緑PAにて車中泊。

★走行距離…531km／風呂…松帆の郷

7月16日(日) 晴れ。今日は日曜日なので、朝ドラはない。まずはうず潮見物からスタートだ。潮

見の順位は9時と16時だったので夕方までは待てず、9時の観光船に乗ることにする。

鳴門海峡を渡り、いよいよクルマは四国を走る。大鳴門橋架橋記念館に8時に到着。しかしまだ時間が早くて開いてない。観光船の出航は9時、記念館が開くのを待っていたら船に乗れなくなるので記念館はバスしたが、いろいろの散歩を兼ねて付近を散策、時間調整をした。

観光船は小型の30名乗りから大型船までいろいろあるが、私たちはうず潮を体でも感じてみようとして小型船にした。約30分のうず潮観光、期待どおりに小型船のせいか近くまで行くとけっこう揺れて目と体で体感できた。

次はマネことではないが、四国一番札所霊山寺で今回の四国一周旅の安全祈願をし、身体健全のお守りも購入した。安全が約束されると人間、不思議なものでお腹が空く。少し時間的には早いけど徳島ラーメンを食べることにする。



●観光船で鳴門のうず潮を体感！



カーナビをセット、中華そば「いのたに本店」に向かう。店に着くともうすでに店前に人だかりができていた。急ぎクルマを駐車場に止め店内へ。席はカウンターの奥で満席だ！ 食券を買った人が後ろで立ち、席が開くのを待っている。果たして味は？ 有名店だから仕方ないが、何か食べた気がしなく物足りなかった。

道の駅穴喰温泉に向け、海岸線を見ながらドライブ。R55を南下している途中、23番札所薬王寺が目に入り、別に厄年ではないが、参りすることに。階段両わきには1円玉がたくさん置いてあり、掲示板を見ると「一段ずつ1円玉を置きながら上ることで厄落としができる」と記されていた。

道の駅穴喰温泉着。駐車場は満車状態だ。ここで一晩お世話になる予定で来たが、落ち着かないし、まだ時間も早いので先へ進む。室戸まで走れば、どこか車中泊できる場所があるだろうと、軽い気持ちで南下。しかし道の駅も何にもない！ とうとう室戸岬まで来てしまいい、岬を回った所でキャンプ場の看板を発見、行ってみることにする。

途中、急坂を登り24番札所最御崎寺を過ぎると、夕陽が丘キャンプ場だ。場内は設備も完備し、手入れも行き届いてとても感じが良く、溜まった洗濯物を片付け、ゆったりまったり、時を過ごす。



★走行距離...199 km / 風呂...キャンプ場のシャワー

「うん、うまい！」
須崎名物の鍋焼きラーメンに舌鼓

7月17日(月) 晴れ。今日は高知へ行つて、カツオのタタキを食べるのがメインテーマだ。朝ドラを見て、チェックアウトは8時過ぎになった。

奈半利町でモネの庭の看板を見つけたので調べてみると、フランスの画家モネが愛したジヴェルニの庭をモデルにしたフラワーカーデンで、本場モネの庭園から株分けしたスイレンが見事とか！。残念ながら動物は入園不可のためいろははクルマでお留守番。開園と同時に入場、見事なスイレンの花にしばし癒しの時間を楽しむ。ちなみに今年のスイレンは天候の



●コレが須崎名物の鍋焼きラーメンだ！

せいで少し小ぶりだそう。

11時、モネの庭の後にし高知に向う。はりまや橋は車窓から眺め、高知城裏手の高知公園駐車場にクルマを止めた。駐車料はバス料金1時間550円を取られた(乗用車350円)。天守閣まで登ってみたが、天井が低く風もないため非常に暑く早々に退散！。目指すはカツオのタタキだ。マップで店を調べて市内へ向うが、

クルマを止める適当な駐車場が見当たらない。あるのはコイン式駐車場ばかりで、キャンピングカーでは厳しい。仕方なく高知市内で舌鼓はあきらめたが、桂浜に行く途中で食えることができた。桂浜の駐車場にクルマを止め、いろはを連れて坂本竜馬記念館と桂浜を散歩。坂もありちよいとい運動になった。

道の駅かわうその里すさきに寄り、鍋焼きラーメン屋へ行ってみるが、元祖橋本食堂は閉まっていた。定休日なのか、残念！。この道の駅は騒がしそうで車中泊にはイマイチなので、もう少し先に行くことにした。

道の駅あぐり窪川が静かそうなのでお世話になることにした。汗を流したいので道の駅で教えてもらい、約15km先にある佐賀温泉まで風呂に入りに行く。

★走行距離...230 km / 風呂...佐賀温泉

7月18日(火) 晴れ。今日とはまろっとオートキャンプ場まで行きゆつくりする予定だ。朝の連ドラを見てみると、高知の同じキャンピングカー仲間から電話が入った。実は高知市内で彼に電話をしたが、3連休を利用して神戸に行つて留守だったため会うことができなかったのだ。

近くにいたら会えるのではと、電話をくれたのだったが、残念ながらすでに高知市内からは相当離れてしまった。それでもいろいろと情報をもらい、須崎にある大正市場を薦められた。今日の予定は特になし、昨日食べられなかった鍋焼きラーメンのリベンジもできると思い、窪川から須崎まで戻ることになった。

市場は開店間際のように準備中のお店が多かったが、魚の鮮度はバツグン！ 値段も安かった。活



きのいいアジを買い、タタキにして今晚のオカズにする。トコロテンが涼しそうに並べてあるお店が目につき、奥さんも感じ良さそうなので入ってみる。ひと口、口の中に入れると、我が住む町の船橋で食べるのと何か違う？ ツルツルしてなく、何かゴソゴソしているのだ。お店を出て家内に話すとやはり同じことを思っていたそう。天草だけでなくどうも何かほかに入っているみたいだ。なんだろう、タレも酢じゃないし！

昨日、食べ損ねた鍋焼きラーメン店、橋本食堂へ電話し営業の確認をする。開店は11時からとのことと良かった。店に入るとメニューは鍋焼きラーメンとライスだけ。鍋焼きラーメンのみ注文した。「うん、うまい！」スープと麺がよく合っている。須崎名物の鍋焼きラーメンも食べられたところで、オートキャンプ場とまろつとへ向かった。

**濃霧と豪雨の中
目指したカルスト台地が
あまりの悪天候にUターン**

とまろつとの向かい側には大きなホテルと病院、温泉があり、チェックインする前に入浴をする。平日のためか、時間が早いから空いていて、ゆっくり疲れを取る事ができた。四万十いやしの湯は最高だ！



●とまろつとキャンプ場でのサイトシーン

お風呂上りに一杯飲みたいところだがレストランで食事だけをお願いした。これがリーズナブルな値段でボリュームもあっておいしい。風呂に入り、お腹も満たされたので向かいのとまろつとへクルマを移動し、チェックイン。ここも平日のせいかガラガラ、でも先週の3連休は満杯だったそうだ。

暑いのでエアコンをつけるために電源を借りる。10Aと20Aがあり、普通、キャンピングカーの客は20Aを借りるとのこと、当然我が家も20Aでお願いする。説明を受け指定されたサイトへ移動したが、どうも今日は我が家のほかには、一大家族がロッジにいるだけのようだ。

サイトに着くやいなや、まずは電源のフックアップをし、オーニングを出して、昼間飲めなかったビールを飲み干す。うまい！ひと息ついたところではと場内

を散策した。
★走行距離…91km/風呂…四万十いやしの湯
7月19日(水)雨。今日は四万十川に架かる沈下橋を見ながらカルスト台地までドライブだ。昨日までとは違い、内陸部の3桁国道を走る。事前情報では、四国内陸部の3桁国道は「酷道?」とかで、狭い所があつて擦れ違いができないと脅かされて来た。でも平日だし、そのときはそのとき、何とかなるさのプラス思考でR441を進むことにした。



●日本最後の清流として名高い四万十川に架かる沈下橋



●恐る恐るかずら橋を渡る家内

3つほど見学し、櫛原町の道の駅

ゆすはらへ向う。カルスト台地に登る前に、ゆすはらでお風呂に入る予定だったが、道の駅に近づくにつれ、だんだん雨足が強くなってきた。でもお風呂に入っている間に小降りになるだろうと、雨宿りも兼ねてゆっくり入っていたが、一向にやむ気配はない。

それでも雨降る中、櫛原からクルマをカルスト台地へ進めたが、標高が高くなるに従い、霧が濃くなり雨も強く、家内からは「戻ろうよコール」が出始める。

折角来たんだからと家内の言葉を押し切り、先に進む。しかし、一向に状況は良くなり、土砂崩れでもあったらと、今度は私が心配になり、大雨と霧の中、Uターンを決めた。道の駅ゆすはらに着いても雨の勢いは一向に衰えず、強雨でBSアンテナも設置できずTVもダメ。暇を持て余す私とせ

つせと絵手紙を描く家内の姿が対照的だ。
小降りになったところ、家内はいろはと散歩に出た。その間、私は天窗を開けてBSアンテナを設置。早めの夕食にして、テレビを楽しむ。BS放送は山の中でも見ることができるよう便利だ。
★走行距離…138km/風呂…道の駅ゆすはら
7月20日(木)雨。今日は道の駅かわうその里さきさきに展示してあった刃物が気になり、高知市内で包丁を見てから、かずら橋へ行くことにした。出発はいつもどおりの8時。

内陸部の3桁国道でもR197は、大型キャンピングカーでも問題なく走れる。須崎東ICから高知ICまで高知自動車道を進む。高知市内の刃物屋に寄って包丁を土産に求めた。
一路、にしいや溪谷のかずら橋

次号予告 12月15日(金)発売の'07年1月号特大号は別冊付録「キャンピングカー・オーナーレポート特集」付きです！



へ。着くころには雨も上がり、大人1人500円を払い、有名なみずら橋を無事渡ることができた。道の駅だからだの里さいたに併設されている環の湯で疲れを取り、明日の金毘羅参りに備える。駅舎の裏手の駐車場は広くてゆったり、温泉もあるので車中泊には最適！

金比羅参りの後に 食したさめきうどんの さっぱり味に感激！

7月21日（金）雨、四国最後の日。香川にお住まいの同じキャン

ピングカー仲間の山讃（ハンドルネーム）がお忙しい中、案内していただけるということで、お言葉に甘えたが、わざわざ道の駅まで迎えに来ていただき恐縮する。まだ雨が強く、この分だと金毘羅参りは大変だねと、1時間ほどクルマの中で談笑していると、雨がやんできた。「Oh！これなら金毘羅さんの階段も大丈夫だ」ということで、山讃の先導で金毘羅さんへ。

参道を進んでいくと途中から日も差してきて、念のためにと傘を持参したが、杖代わりになってしまった。山讃の説明を聞きながらの階段は、何かあつという間に登

●助手席に座る愛犬いろはと家内

ってしまつたという感じだった。山讃によると金刀比羅宮は海上安全の神様とか。太平洋を横断した海洋冒険家堀江謙一のソーラーパネルを張ったヨットも奉納してあった。

御本宮で守りを購入し、次はさめきうどん巡り。初めに案内していただいたお店は、おろしうどんのお店で、自分でダイコンを好きなだけおろしてうどんに載せ、タシ醤油をかけて食べるのがウリ。暑い夏はピッタリで、カボスやレモンをかけてもさっぱりしてうまい。2軒目は雑誌などでもおなじみの山越うどん屋。ここはセルフサービスの店舗で行列ができていた。うどんの玉数を言い、トッピングを選んで会計を済ましてからタシをかけ、店の庭で食す。これが流儀だ。ちなみにうどん屋をハシゴするには、1度にたらふく食

べないのがコツのようだ。お腹も一杯になったところで腹ごなしにと、栗林公園まで足を延ばす。園内には手の込んだマツといい何とも静かな雰囲気、手入れも行き届き大変気持ちがいい！昔の高等小学校読本に「日本の三公園よりも優れり」と記されている掲示板も見つけた。

村で、今は映画のロケ地として有名になり、週末ともなると多くの観光客が訪れるそうだ。「サクが走った防波堤、皇子神社にあるブランコ、写真館などなど」！家内は楽しそうに見学していた。最後に山讃ご夫婦と一緒に食事をして、銭湯で裸のお付き合いもしたりして、楽しかった香川の地に別れを告げ、瀬戸大橋を渡って鴻ノ池SAで車中泊をした。

★走行距離…108km／風呂…高松市内銭湯

7月22日（土）晴れ。楽しかった四国キャンプ旅も終え、今日は自宅のある船橋へ向けて安全運転で帰るのみ。いつものように朝ドラを見た後出発。途中渋滞にも遭わず、日が変わる前の23時に帰宅することができた。

★走行距離…750km／総走行距離約2400km



●金比羅本宮への参道の途中にて



●夫婦仲良くおろしうどんに舌鼓



●栗林公園の絶景ポイントで2ショット！